

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 452

事務事業名	裏見の滝自然花苑維持管理事業
-------	----------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	都市整備部		
課名	河川公園課		
課長名	浦山 弘幸	内線	426
担当者名	遠藤 将太	内線	434

基本目標	040402	活力に満ちた産業のまち
政策		歴史や自然を活かした観光のまちづくり
施策		観光客受入体制の整備
関連施策		

会計	一般会計		
款	7	商工費	
項	1	商工費	
目	3	観光費	
事業コード	050300	裏見の滝自然花苑維持管理事業	

事業類型	6	施設維持管理(補修)事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	裏見の滝自然花苑利用者		
意図 対象をどのような状態にしたいか	裏見の滝自然花苑利用者に安全で快適なサービスを提供する。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	裏見の滝自然花苑は、約1.8haの面積にめずらしい滝と45種類5,800本のシャクナゲ等がある公園で、園内のシャクナゲの管理、清掃、除草を行っている。 ・地元開催のシャクナゲまつり期間中(4月上旬から5月上旬)には交通整理を行っている。 ・シャクナゲ等の維持管理業務を裏見の滝公園管理委員会(地元)に委託している。 ・シャクナゲまつり期間中に限り、H16年度から入場料(1人1回200円)を徴収している。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 直営、委託
根拠法令、要綱等	大村市裏見の滝自然花苑条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① 維持管理業務延べ人数	計画値	630	630	630	630		
		実績値	631	630	630			
	達成度	%	100.2%	100.0%	100.0%			
	② しゃくなげ本数	計画値	本	5,800	5,800	5,900	5,900	
実績値			5,818	5,877	5,937			
達成度		%	100.3%	101.3%	100.6%			
成果指標	① 来場者数	計画値	人	20,000	20,000	20,000	20,000	
		実績値		15,915	13,100	12,765		
		達成度	%	79.6%	65.5%	63.8%		
	②	計画値						
		実績値						
		達成度	%					

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	4,677	4,510	4,707	4,374	4,420	4,707	4,707	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	1,930	1,417	1,800	1,923	1,672	1,800	1,800	
一般財源	2,747	3,093	2,907	2,451	2,748	2,907	2,907	
② 人件費(千円)	1,033	1,134	876	903	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.13	0.15	0.12	0.12				
時間外勤務(時間)	0	0	15	15				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	5,710	5,644	5,583	5,277				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

<b>事業の進捗状況</b> 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	裏見の滝実行委員会の適正な維持管理をおこなったが、休日の悪天候の影響により来場者数が25年度に比べ減少した。なお、維持管理については、引き続き地元の管理委員会に委託し、安全な施設管理を行った。
<b>事業が抱える問題・課題等</b>	裏見の滝周辺について、落石の危険性がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
平成2～7年度にかけて、ふるさと創生事業により裏見の滝公園管理委員会(地元)がシャクナゲを植栽し祭りを開催することで地域活性化を図っており、シャクナゲの管理等も、祭りを主催している裏見の滝公園管理委員会に委託する等、コスト削減に努めている。							
裏見の滝自然花苑は平成2年度から整備を行い、今では市を代表する観光施設になっている。他の同様な施設との比較及び選択的な行政サービスの公平な負担という観点から、平成16年度から管理経費に見合った入場料100円を利用負担とした。しかし、より一層の誘客を図る上で、今後の施設の充実や管理経費の増大を考慮した結果、入場料を改訂し、平成21年4月から200円とした。							

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

<b>内容</b> 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	引き続き地元の裏見の滝管理委員会に委託し、しゃくなげの適切な管理に努める。また、落石対策については景観の保全上手を加えることは難しいことから、滝下周辺の立入りについて規制をかけている。
<b>効果</b> 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。